

様式第4号・その1（第7条関係）

令和 7 年 3 月 26 日

伊万里市議会議長 中山 光義 様

氏名 塚本博幸



令和6年度 伊万里市政務活動費収支報告について

伊万里市政務活動費の交付に関する条例第5条第1項により、別紙のとおり令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

様式第4号・その2（第7条関係）

令和6年度 政務活動費収支報告書

議員名 塚本 博幸

1 収 入 政務活動費 250,000 円

2 支 出

項 目	金 額 (円)	備 考
研究研修費	49,740	自治体議会セミナー・市町村議会議員研修
調査旅費	184,760	北海道、愛媛県に行政視察
資料作成費		
資料購入費	6,075	図書購入、新聞購読
広報費	159,272	つかもと博幸市政だより2回発行
広聴費		
人件費		
事務所費		
その他の経費	28,430	インターネット、携帯電話利用料
合 計	428,277	

3 残 額 0 円

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

様式第5号・その1（第7条関係）

（1 調査 1 枚作成）

研 究 研 修 費

（支出明細書）

研 修 内 容 又 は 目 的	議員の資質向上と議会力の向上		
研 修 年 月 日	令和 6 年 5 月 20日	宿泊の有無	有・ ☒ 無
研 修 場 所	立花コミュニティセンター		
経 費 明 細 書			
会 場 費			
講 師 謝 礼			
出席者負担金	3,000円		
会 費			
旅 費			
宿 泊 費			
そ の 他 経 費			
合 計	3,000円		

議長	局長	副局長	係長			
●	●	●	●	●	●	●

研究研修・調査 報告書

伊万里市議会議員 中山 光義 様

下記のとおり 研究研修・調査 を行いましたので報告します。

令和 6 年 5 月 27 日

伊万里市議会議員 塚本博幸

研 修 名	議員の資質向上と議会力の向上
日 時	令和 6 年 5 月 20 日 (月)
場 所	伊万里市立花コミュニティセンター
目 的	①議会基本条例制定後、議会は進んだか？ ②コロナ期に議会は停滞していないか？ ③ポストコロナ時代の機会を、どう創造していくか？ 今こそ「議会議事機関」の原点を再認識すべきではないか！
研修・感想	1.研修内容 I 議会の役割・機能 ・地方自治法の一部改正する法律で、第 89 条第 1 項に「議会は、議事機関」と明確に規定された (2023 年 5 月 8 日公布) ①議事機関としての審議・議決・議案提出を通じ、政策形成機能をどう担うか ②議会は、いかに「民意」を反映できるかが大きな課題 ⇒現状は、あまり政策形成機能は発揮されていないのでは。 また、議員も政策形成機能にあまり関心がないのでは。 II 議会運営の基本 ・地方公共団体の長と議会の二元代表制 ①議会は、首長の承認機関ではない ⇒議会は、首長とは立場や役割が異なる。 何をするための議会なのか？議会の存在意義は何か？ III 議員力・議会力の強化 ・議会力＝市長等に対する監視機能を十分に果たすとともに、政策立案及び政策提言を議員間で共有し、その政策実現に向けた総合的な活動 ・議員力＝地域の課題を把握し、その解決を目指して調査し、及び政策を構想する能力並びにその活動



	①議会が二代表制の下で、議会の役割を十分に発揮するためにその機能を強化する必要がある⇒議会力の強化 ⇒一人の議員の意見は、議会の意見ではない 「機関としての議会」が実現されているか、強いては「二代表制」が実践されているか？ Ⅳ 二代表制を実践するために ・議会基本条例の制定は必須 ①制定状況・令和5年10月現在：全国1,012の自治体で施工 ②住民とともに議会改革を進めるうえでも制定すべき 議員としてどうかより、議会としてどうあるべきかを考える ・議会基本条例の制定後は見直しと評価が必要 ①議会基本条例は最低4年に一度は見直しを行い、必要に応じ改正を行う Ⅴ 議会力の向上のために ①一般質問の有効的な活用 ②議員の一般質問から議会の政策提案へ Ⅵ 政策提案・政策提言機能の強化 ・政策立案：市政における課題の解決を図るため、政策を構想しその実現のために必要な仕組みに関する条例案を議会に提案 ・政策提言：市政における課題の解決を図るため、必要と思われる政策を提言書としてまとめ、市長等に対し、この提言書の提出をもって提案する Ⅶ 通年性議会の導入の検討 ・通年議会の主なメリット ①いつでも会議を開くことができるため、より慎重な議案審議や専門的な調査を行うことができる ②委員会を必要に応じ開催できることで、調査研究活動や議員間の討議の活発化が期待できる ③市政に対する監視機能や政策立案の機能が強化できる ④市長や議員が必要に応じ議案を提出できる ⑤市長が提出する議案などを年間を通して審議することができるため、市長の専断処分を必要最低限に抑制することができる Ⅷ ポストコロナ時代の議会運営 ・オンラインによる本会議、一般質問、委員会の開催を模索 2.感想 議員活動も1年が経過し、年間の主たる会議、行事、イベント等は一通り経験し2年目以降は自分なりの考えをもって活動を活
--	--

	発化させねばと模索している中での受講であった。 講義で強く感じたことは、「議会は議事機関と明確に規定されその役割は極めて大きい」・「諸活動の原点は住民のために」である。 今後、議員力の向上に努め、議会力の向上を目指していかなければならないと強く感じたので、日々邁進していきたい。
備 考	

領 収 書

2024年5月20日

塚本博幸様

¥ 3,000-

上記正に領収いたしました。

但し、「自治体議会セミナー」受講料として

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木545）

代表 高 沖 秀 宣

様式第5号・その1（第7条関係）

（1調査1枚作成）

研 究 研 修 費

（支出明細書）

研 修 内 容 又 は 目 的	令和6年度市町村議会議員研修[3日間コース] 社会保障・社会福祉		
研 修 年 月 日	令和 6 年 7 月 1 日 ～ 7 月 3 日	宿泊の有無	☒ 有・無
研 修 場 所	全国市町村国際文化研修所		
経 費 明 細 書			
会 場 費			
講 師 謝 礼			
出席者負担金	11,000円		
会 費			
旅 費	35,740円		
宿 泊 費			
そ の 他 経 費			
合 計	46,740円		

議長	局長	副局長	係長	係
●	●	●	●	●●●

研究研修・調査 報告書

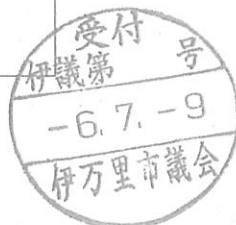
伊万里市議会議員 中山 光義 様

下記のとおり研究研修・調査を行いましたので報告します。

令和6年7月9日

伊万里市議会議員 塚本博幸

研 修 名	令和6年度市町村議会議員研修 [3日間コース] 「社会保障・社会福祉」
日 時	令和6年7月1日(月)～7月3日(水)
場 所	滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 全国市町村国際文化研修所
目 的	かつて経験したことのない少子・高齢社会下の人口減少が進展する中で、これらに対応した社会保障・社会福祉の施策は喫緊の課題である。社会保障、子育て支援、少子化問題、福祉・介護サービスの人材確保、生活困窮者支援、高齢者介護と地域共生社会の現在の状況や制度の理解に加え、上記テーマに関する講義や事例などを通して、伊万里市における福祉を取り巻く諸課題について考える絶好の機会と捉え受講した。
研 修 感 想	・1日目・・・将来の社会保障の姿を考える *直面している人口問題、地域の現状や課題を明らかにし、持続可能な社会保障政策の実現に向けた、自治体の役割について講義があった。 ●感想⇒コインパクトシティの壮大な計画を知った。住民ニーズに国は応えられない、住民自治は地方に任せるの論法。我々議員の出番であると感じた。 ・1日目・・・これからの子育て支援 *現在の子育て支援事業の取組と課題、障がいの気付きの段階からの早期支援や児童虐待の発生防止などの予防型支援をめぐる子育て支援事業の役割について講義があった。 ●感想⇒国の活動は総花的であるので自治体の工夫を凝らした活動に期待するとの論法。 こちらも我々議員の出番であると感じた。



・2日目・・・少子化問題を考える

＊社会問題となっている”少子化“は若者の未婚率上昇や貧困化などが要因といわれている。このような要因の社会的背景や現状の課題、行政が本当に取り組むべき少子化対策とは何かを、データ情報の分析・解析から講義があった。

●感想⇒データから読み解く日本の少子化の要因。

子育て支援＝生まれている子どもやその家庭に支援をする。少子化対策＝どうしたら今後子どもが生まれるかを支援する。データから子育て支援に支出しても出生率に比例しないことを知った。

・2日目・・・福祉・介護サービスの人材確保と育成

＊世界一の高齢社会と呼ばれる日本において、福祉・介護サービスの人材不足が社会問題となっている。

福祉・介護労働市場の現状や人材不足により現場でどのような問題が発生するのか、また、今後少子高齢化が加速していく中でいかに人材を確保・育成していくかについて講義があった。

●感想⇒伊万里の地でも外国人の福祉・介護士を見かける。

また大きな病院では中国人医師や製造業に外国人が多数就業している。今後、就業人数が大幅に不足する中で、今、日本への就業率が低下しているとの情報を聞く。

まず日本に来てもらえるように、関係当局でしっかり議論して力強い施策を構築することが極めて重要であると強く感じた。

・2日目・・・生活困窮者の実態と支援策

＊経済的な困窮をはじめとして、就労・心身の状況、住まいの確保、債務、社会的な孤立など、課題が多様化・複雑化する中で生活困窮へのより一層の支援の強化が求められている。

そこで、市町村に求められる包括的な支援体制在り方等の事例を交えながら講義があった。

●感想⇒生活困窮者＝お金に困っているだけではないことを知った。

孤立、地域共生への対応がいかに重要かを知らされた。

・2日目・・・高齢者介護と地域共生社会

＊高齢者の生活を取り巻くニーズや社会情勢の変化を踏まえつつ、「地域の実情」に沿った体制が求められている最近の動向、市町村に期待されている役割や施策などについて講義があった。また、誰もが自分らしく暮らしていくために「地域共生社会」の実現に向け、包括的支援体制の構築や地域福祉計画の策

	定など、市町村に求められる役割についても講義があった。 ●感想⇒支える人、支えられる人、地域での支え合い。 具現化する市町村の役割は極めて大きいことを知らされた。
	・3日目・・・意見交換・発表 *小グループに分かれ、地域の現状や課題等について意見交換や内容をグループ毎に発表し、講師より講評をいただいた。
備 考	各分野のオーソリティの先生方の講義内容を頭いっぱい積み込んで研修を終えた。 今後、持ち帰り整理し活用・具現化に向けて取り組まねばならぬと思いを新たにした。

きぎん ご利用控

お取引内容		取組店番	機器	お取扱日	
お振込		067919		6-6-21	
銀行コード	支店コード	口座番号			
*****		*****			
時刻	手数料(当座)	お取引金額			
15.40	550円	¥11,000円			
エラーコード		残高			
		*****円			
お振込日 6年 6月21日					
お振込先					
お受取人					
サイ)セソコクシチヨウリツケンシウサイ					
ご依頼人 TEL 090-3939-1997					
イマリキカイ ツカモトヒロキ 様					
おつり 450円					
処理NO. 0001584430					

毎度ご利用いただきありがとうございます。
お振込できない場合は「種別」が「お振込」でなければなりません。
「ご利用」を「お振込」で、窓口にお持ちください。
※このご利用は必ずお持ちください。

印紙税申告納
付につき佐賀
税務署承認済

きぎん 佐賀銀行

旅行者 塚本 博幸

期 間 令和6年7月1日（月）～3日（水）

行 先 滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所
内容等 令和6年度市町村議会議員研修〔3日間コース〕社会保障・社会福祉

備 考

※網掛けは、領収書添付 (単位：円)

項 目		金 額	摘 要
運 賃		34,140	伊万里～大津京（往復）
宿 泊 料		0	受講負担金に含む
交通費	県外の市	1,600	800×2日分（7月2日は移動なしのため不要）
計		35,740	

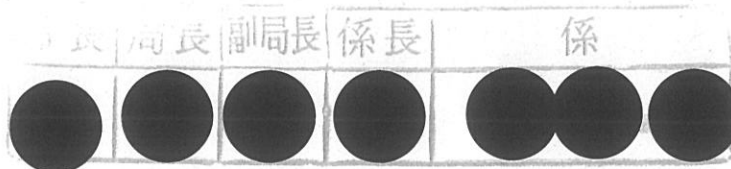
様式第5号・その2（第7条関係）

（1調査1枚作成）

調 査 旅 費

（支出明細書）

調 査 目 的	①廃校活用について ②公共交通（JR）存続について
調 査 地	①北海道上川郡美瑛町 ②北海道富良野市
調 査 年 月 日	令和 6 年 10 月 6 日 ～ 10 月 8 日 (宿泊の有無 ☒ 有 ・ 無)
調 査 結 果	別紙のとおり
経 費 明 細 書	
旅 費	125,820円
そ の 他	
合 計	125,820円



研究研修 調査 報告書

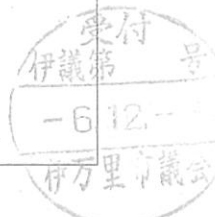
伊万里市議会議員 中山光義 様

下記のとおり 研究研修 調査 を行いましたので報告します。

令和6年12月6日

氏名 塚本博幸

実施年月日	自 令和6年10月6日 至 令和6年10月8日	3日間	宿泊 <u>有</u> 無
場所	1. 北海道美瑛町 2. 北海道富良野市		
目的	1. 美瑛町→廃校活用の取り組みについて 2. 富良野町→JR北海道のローカル線問題について		
内容 感想等	美瑛町（以下のレジュメに対し、説明資料あり） (1) 美瑛町における学校の歴史と統廃合 (2) 廃校活用の目的 (3) 廃校活用の事例 (4) 今後の課題 ●感想 広大な面積を有する美瑛町の各地域に学校がそろって21年の歳月を要し、昭和46年のピーク時は小学校20校、中学校4校であったが、総人口が2万2千人から9千人までの減少に伴い、小学校は5校、中学校は2校迄統廃合に至った。町担当者は決して後ろ向きにならず、全国の事例を参考に廃校活用の目的を使命として、地域コミュニティの中核・地域活性化のチャンスと捉え取り組んでおられることに感動をした。また、町全体にゴミの散乱がないことに気付き、質問したところ、町民が美瑛は観光の町、町はみんなできれいにするんだとの意識が高いためではないかと即答されたことにも驚きと感心した。 こうして活発に活動され成果を上げておられる団体や部署の強み、秘訣は、リーダーシップであると事をここでも知らされた。 富良野市（以下のレジュメに対し、説明資料あり） (1) JR北海道根室線の廃線経緯について (2) 北海道内の石炭埋蔵地 (3) 北海道内の鉄路の変遷 (4) 鉄道運行のための所要額について (5) JR北海道根室線の協議について (6) JR北海道からの支援金について		



●感想

北海道の中心部に位置する富良野市は西に芦別岳、東に十勝岳連峰がそびえ、空知の清流が大地をもたらしている自然豊かな田園都市である。雄大な農地から生み出される数多くの特産品は「富良野ブランド」として人気を博し、日本屈指の富良野スキー場をも持つ農業と観光を基幹産業として発展を続けるまちである。そんな富良野市であるが、JR北海道根室線の利用客は昭和50年には5,876人/日であったが、新線の開業後は昭和60年には654人/日、令和2年には57人/日まで落ちたとのことであった。

そこでその対応として、乗客の減少が顕著となったところから、国会議員・北海道・道議会・運輸局・JR北海道との協議会を立ち上げ、令和5年4月にJR北海道根室線を廃線として、代替バスの開始に移行したとの事であった。驚いたのはJR北海道側から、運行支援金+まちづくり支援金に加え、バス利用者（定期利用者に限る）にも補助が支給されている事である。今後、筑肥線の廃線が懸念されるが、富良野市の事例を参考にすべきと考える。

※資料は翌年度から5年間各自で保管する（伊万里市政務活動費の執行に関する運用方針2-(1)）

政 務 活 動 費 旅 費 計 算 書

旅行者 塚本 博幸

期 間 令和6年10月6日（日）～令和6年10月8日（火）

行き先 ①北海道上川郡美瑛町 ②北海道富良野市

内 容 ①廃校活用について
②公共交通（JR）存続について

備 考

※網掛けは、領収書添付

（単位：円）

項 目		金 額	摘 要
運 賃		3,680	伊万里～福岡空港（往復）
		92,120	福岡空港～旭川空港（往復）
		340	西聖和（旭川空港）～美瑛
		750	美瑛～富良野
		1,130	富良野～西聖和（旭川空港）
宿泊料		26,200	13,100円×2日
交通費	市	1,600	800円×2日
計		125,820	

※旅費計算につきましては、伊万里市職員等の旅費に関する条例に基づき、最も経済的な経路及び方法により算出することとなっておりますので、申し出があった経路とは異なる場合があります。

領 収 証

№ 019828

塚本 博幸 様

2024年10月9日

金 額			4	千			1	2	0	円
-----	--	--	---	---	--	--	---	---	---	---

上記の金額正に領収致しました

但し 10/6.8 航空券代金にて

現 金	
小切手	
振 込	
72,100	9,200



あなたの一番を目指して!

株式会社 西九州ツークス

□本 社 佐賀県伊万里市
TEL: 0955-25-9010

□松 浦 旅 行 長崎県松浦市志保
サービス支店 TEL: 0956-72-3377

- 1

001

- 1

570

担当者印



様式第5号・その2（第7条関係）

（1調査1枚作成）

調 査 旅 費

（支出明細書）

調 査 目 的	①消防団員確保や防災対策備品などについて ②農村RMOや地域おこし協力隊の活動などについて
調 査 地	①愛媛県大洲市 ②愛媛県東温市
調 査 年 月 日	令和 7 年 1 月 20 日 ～ 1 月 21 日 (宿泊の有無 ☒ 有 ・ 無)
調 査 結 果	別紙のとおり
経 費 明 細 書	
旅 費	58,940円
そ の 他	
合 計	58,940円

市長	局長	副局長	係長	係		
●	●	●	●	●	●	●

研究研修 調査 報告書

伊万里市議会議員 中山光義 様

下記のとおり 研究研修 調査 を行いましたので報告します。

令和7年2月6日

氏名 塚本博幸

実施年月日	自 令和7年1月20日 至 令和7年1月21日	2日間	宿泊 ☒ 有 ☐ 無
場所	①愛媛県大洲市大洲市議会（1月20日） ②愛媛県東温市（1月21日）		
目的	①消防団員確保の取組等について ②農村型地域運営組織（農村RMO；レギオン・マネージメント・オーガニゼーション） ～奥松瀬川地区農村活性化協議会の取組み～		
内容感想等	【愛媛県大洲市大洲市議会】 1. 大洲市消防団の概要 1) 団員数 ▽全団員数1,372人（条例定数1,603人） うち 基本団員数1,158人 ・機能別団員数214人 女性団員数43人 *平均年齢47.6歳 2) 団本部 ▽団長 副団長5人 ・23分団 ・74部 3) 車両・施設等 ポンプ車8台・普通積載車46台・軽積載車26台・広報車2台 ▽小型動力ポンプ94台・詰所76箇所・車庫ポンプ小屋10箇所 4) 年間行事→別途資料あり 2. 消防団員確保の取組み 1) 消防団員数の推移（条例定数1,603人） ▽平成17年4月1,526人（充足率95.2%） ▽平成27年4月1,475人（充足率92.0%） ▽令和6年4月1,372人（充足率85.6%） 2) 団員確保への取組み ▽募集方法→各地域分団による勧誘 ▽PR活動→イベント等でのチラシ配布 3) 機能別団員の入団（平成26年導入：定数1,603人→258人） ▽少子高齢化により若い世代の新人団員数が少ない ▽消防団OB、女性団員を主とした勧誘 →平成26年61名→平成31年132名→令和6年224名 4) 活動内容 ▽火災、災害、行方不明者捜索の時のみ出勤 →訓練やイベントなどへの参加は免除 但し、年1回の資器材の取扱い説明会には出席要請 3. 防災対策備品 1) 災害時に特化した装備の導入状況とその活用事例		



内 感 想 等	▽排水対策時の機械 消防団の装備としては配備していない。市が6月～10月の間、業者から排水ポンプをリース。設置も業者に委託。また、国土交通省の排水ポンプ車7台も出動する。 ▽救助用ボート エンジン付き救助用ボート13艇・デジタル無線機182器 エンジンなし救助用ボート 8艇・ヘッドライト1,000個 ・フォグガン11台 2) 防災備品の管理や点検体制 ▽月2回の車両とポンプ点検 ▽年1回の市有物品点検 4. 対外除細動器AEDの設置状況 1) 導入から現在に至るいきさつ ▽設置台数>大洲市239台、内子町76台 ▽平成18年度に制定した設置計画に基づき、現在市内のコミュニティセンターや学校等の公共施設に市が設置・更新している台数は143台。 市内の民間病院や介護施設などに100箇所以上整備。 ▽AEDの耐用年数は8年でとなっており、定期的な更新を実施するとともに、消耗品となるパッドやバッテリーの交換をしながら維持管理に努めている。 2) 公民館での管理状況、コンビニエンスストアへの設置状況 ▽公民館（コミュニティセンター） 全て屋内で管理しており、職員がいなくなる夜間等では利用できない ▽コンビニエンスストア (1) 現在市内の店舗では設置されていない (2) 特に夜間の救命率向上を図る上では効果的な施設であると認識しているが、設置に当たっての導入経費やメンテナンス等経常費用も掛かり、日常点検や管理など、一定のルールが必要となってくる。 (3) 学校施設 市内20校（小学校12、中学校8）の学校施設において、夜間や休日等の社会体育の利用者も考慮し、屋外に設置している。 (4) 住民への周知・広報 設置場所等の情報については、市及び大洲地区広域消防組合のホームページに掲載し周知している。 いざという時に、救える命を救うためには、ハード面の整備だけでなく、市民の方にAEDの取扱いを含む心肺蘇生法などの基本的技術を身に付けていただく必要があると考えており、各地区で実施されている訓練や研修会を継続的に開催している。 5. 最重要課題 1) 消防団員の訓練内容と頻度 訓練内容や頻度が、今の時代に敬遠される一番の所であるとする。出勤報酬など金銭的な問題だけではない。 2) 地域防災力強化のための消防団の役割・位置付け 大洲市における消防団は、火事場のみならず水害時の水消防団の役割も担っている。平野部・山間部関係なく、消防団の存在は大きい組織であり、特に、山間部地域では、消
----------------------------	--

防団がコミュニケーションの中心である。

●感想

1. 全国的な少子高齢化の波は大洲市においても進展しており各方面に影響を及ぼしている。

その様な環境の中、工夫を凝らした活動が地域再生大賞準大賞*を受賞された朗報もあった。

*準大賞；「キタ・マネジメント」

歴史と伝統のある街並み衰退の危機を前に、DMO（観光地域づくり法人）が、地域住民と丁寧に関わり、観光を軸とした産業創造と、街並みの再生を果たす。

2. 消防を取り巻く環境や課題は伊万里と全く同じで、消防団員確保の取組み等について学んだ。

特に、機能別団員確保に力点を置かれた活動で団員数の確保に成果が出ており、参考にすべきと感じた。

【愛媛県東温市】

1. 持続可能な奥松瀬川をめざしたイメージ

・産業・農業・教育・文化・生涯学習

2. 奥松瀬川地区が抱えた課題＞具体的な施策

・知名度や注目度が低い・住民の高齢化・耕作放棄地の拡大
・特色のない地域 ＞何もないなら作ってしまおう！

しってもらおう！

地域弱体化を打開すべく東温市が策定した、まち・ひと・しごと創生総合戦略により推進されることになった、東温市地域創生補助事業に応募

＞選択地域に選ばれたことにより取り組みがスタート

3. 事業内容＞地域交流拠点 ほっこり奥松

- 1) 交流農園「ぼんぼこ農園」（平成29年4月）

『人と自然のふれあい』をテーマとした、非農家や都市部の住民が対象の利用型農園＞50区画（3m×6m/区）年1万円

・バーベキュー場、ドッグラン（平成30年4月）

ぼんぼこ農園利用者の遊び場として整備し、家族やペットと一緒に楽しめる農業を目指している

・妖精の里シンボル&休憩所「ツリーハウス」一般開放
農作業の合間に一息ブレイクタイム、イベントなどの際も利用し、都市住民との交流の場にもなっている

*利用者は年々増加し、15 /50区画が利用契約済

それに伴い、交流人口だけでなく、奥松瀬川への移住者（1家族）や移住希望者（3家族）も増加している

- 2) ほっこり市場（平成30年4月）

直売所として、奥松瀬川産の農産物や手工芸品を常時販売

- 3) ほっこりB館（令和3年4月）

利用者の増加に伴い、体験教室専用の施設としてB館建設
利用環境向上のため、観光・交流と体験の場を設けて設置

・大人のための体験型教室

ピザづくり体験教室・パン教室・手芸教室・竹加工教室

・セルフカフェ

地域の新しいコミュニティの場として確立し、運営の安定化を図っている

*地域住民を中心に交流の場となっており、年間平均利用者数は

	約4,000人～5,000人で推移＞10年前も現在も131世帯変わらず 4) その他の取組み ・ 荒廃地、放棄地整備・特産品開発・自然体験教室の開催 4. 地域創生事業の現状と課題 1) 観光・交流 ・ ほっこり奥松の定番となった教室（竹加工、手芸、パン・ピザ）は、発足当初と比較すると順調に推移し、参加者の増加に伴って実施回数も増えている ・ 農園利用がきっかけで、就農希望や移住希望の声がでてきており、ぽんぽこ農園に対する当初の期待値を大きく超え、地域人口増加及び耕作放棄地の減少に寄与している ＞課題；①新しい定期開催の教室を固定させるための、一芸に秀でた講師や先生となり得る人物の発掘 ②利用者が少ない＞販売が伸び悩む＞出荷控え ＞商品が少なく利用者の期待を下回る＞販売が伸び悩むという負のスパイラルからの脱却 ③管理体制の強化による未使用区画や通路の雑草対策 ④情報発信及び宣伝広告力の強化＞大人食堂模索 2) 農林業 ・ 山林整備によってできた圃場（約1.5ha）や放置竹林及び荒廃地整備によってできた圃場（約1ha）で試験栽培を実施し、異なる環境であっても比較的容易に栽培が可能 ・ 添谷集落の森林を整備し、基本となるフィールドが造成されている ・ 地域住民を主体とした自然観察会や事業主体希望者による第1回森のようちえん、（荒天プログラム）の開催及びブレ開催 ＞課題；①桜羅楽農会の法人化や農地集約、栽培規模拡大、人材確保などの事業継続に向けた取り組み ②柚子以外を使った特産品の開発・販売等による事業の収益性の確保 ③スマート農業の導入による新しい就農者の確保と若手の人材の確保 ④『妖精の里づくり』事業と森のようちえん事業の事業を統合 ●感想 創業者殿は、農協職員を経て現在は農業委員会の会長としての経験と知識と人脈で、国の補助金等を活用して精力的に活動されていることにまずは驚いた。 加えて、地域おこし協力隊隊員の方もこれらの活動に呼応してか活動に加わり、従前の知識・技能をフルに発揮し移住そして結婚して定住されている。 まさに国が推し進める施策の好事例であると感じた。 改めて、厳しい現実を直視して改革していくには、強力な人材とリーダーシップが必要である。 この好事例を持ち帰り、今後どう展開していくかを関係者でしっかり議論し、具現化していかなければならない。
--	---

政 務 活 動 費 旅 費 計 算 書旅行者 林博幸議員、塚本博幸議員、力武英一郎議員、川添智徳議員期 間 令和7年1月20日（月）～令和7年1月21日（火）行き先 愛媛県大洲市、東温市内 容 消防団員確保や防災対策備品などについての調査
農村RMOや地域おこし協力隊の活動などについての調査備 考

※網掛けは、領収書添付

(単位：円)

項 目		金 額	摘 要
運 賃		39,000	伊万里～松山（往復）
		3,680	松山～伊予大洲（往復）
		1,560	松山～見奈良（往復）
宿泊料		13,100	13,100円×1日
交通費	市	1,600	800円×2日
計		58,940	

※旅費計算につきましては、伊万里市職員等の旅費に関する条例に基づき、最も経済的な経路及び方法により算出することとなっておりますので、申し出があった経路とは異なる場合があります。

様式第5号・その4（第7条関係）

（年間分）

資 料 購 入 費

（支出明細書）

経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備考
図 書	図書名		
	ポストコロナ時代の自治体議会改革講義	2,500	
月 刊 誌 等	誌名		
新 聞 購 読 料	新聞名		
	伊萬里新聞	3,575	5月～3月分
家庭用新聞名	佐賀新聞		経費に含まない。(第1紙)
そ の 他			
合 計		6,075	

領 収 書

塚本博幸 様

2024年5月20日

¥ 2,500-

上記正に領収いたしました。

但し、書籍『ポストコロナ時代の自治体議会
改革講義』代金として

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	01730-0
振込先	38417
加入者名	藤 泰治 (伊萬里新聞)
金額	3900
依頼人	R6.5~R7.4分 塚本博幸 様
日 期	06-04-24
印	T501000111
現金扱	2730 ㊦チヨ
と	(77073) N94170007

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

R7.4月分は対象外のため
3,575円で計上

この受領証は、大切に保管してください。

様式第5号・その5（第7条関係）

（1回1枚作成）

広 報 費

（支出明細書）

広 報 内 容	つかもと博幸 市政だより第3号		
実施年月日	令和 6 年 8 月 19 日		
経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
活 動 報 告 費 会 費	会場借上料		
	人 件 費		
	茶菓子代		
	そ の 他		
印刷費等	印 刷 代	59,400	1,200部
	コピー代		
	用 紙 代		
	消 耗 品		
	そ の 他		
郵 送 代	封 筒 代		
	はがき代		
	切 手 代	16,862	223通
そ の 他			
合 計		76,262	

TACHIBANA TACHIBANA T 領 収 証 ANA TACHIBANA TACHI

つかもと博幸

様

令和 6 年 8 月 19 日

金 額		百万		千		円
			¥	5	9	400

但し、印刷代として

☒現金 ☐小切手 ☐手形 ☐相殺 ☐振込

上記の金額領収致しました。

内 税率	税抜金額
10 %	¥54000
	消費税額
	¥5400

有限会社 立

代表取締役 松

〒848-0027 佐賀県伊万里
TEL0955-23-2886/FAX0955-23-2758
登録番号 T7300002008616

担当者

TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACH

領収書

塚本

様

[別納引受]	
区内特別基 (定)	15.0g
@73 170通	¥12,410
小 計	¥12,410
第一種定形	15.0g
@84 53通	¥4,452
小 計	¥4,452
郵便物引受合計通数	223通
課税計(10%)	¥16,862
(内消費税等(10%))	¥1,532
非課税計	¥0

△計	¥16,862
合計	¥16,862
お預り金額	¥20,862
おつり	¥4,000



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2024年 8月21日 14:33
発行No. 240821A5787 端N12箱03
連絡先: 伊万里郵便局
TEL: 0570-943-085



伊万里市議会ご報告 市政だより

発行所：伊万里市議会議員 **つかもと博幸** 後援会事務所
〒848-0125 伊万里市黒川町小黒川 456-1
TEL ■■■■■ 0955-27-2355



《ごあいさつ》

季節も進み梅雨が明け本格的な夏到来です。

皆様方の暖かいご支援により、市政の場に送り出していただき早いもので1年と3か月が経過しました。

その間、一貫として『初心忘るべからず』を心に、皆様の生声に真摯に耳を傾け、「人にやさしく、住みよいまち・住みたいまち 伊万里を創る」の実現に向け、誠心誠意取り組んでまいりました。

いよいよ9月~10月には佐賀県では48年ぶりとなる国

民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会が開催されます。伊万里市でも5つの競技が予定されており、黒川町ではビーチバレーボールとオープンウォータースイミングが開催され、約250名の選手・関係者の皆様が来訪されます。

そういった方々に伊万里に来て良かった、素晴らしい大会だったと言っていただけるように、大会関係者は準備を着々と進めています。

皆様も応援に駆けつけていただくと幸いです。

令和6年度 第2回定例会 6月議会が開催されました

令和6年第2回定例会が、6月8日から6月28日までの19日間、開催されました。付託されました案件は、条例議案2件、一般議案10件、予算議案2件、報告9件の合計23件です。一般会計における予算規模、補正の基本方針は次の通りです。

詳細は8月に配布されます「市議会だより90号」をご覧ください。

1. 予算規模（一般会計）

令和6年度現計予算額	342億5,200万円
令和6年6月補正額	7億3,067万7千円
令和6年6月補正後額	349億8,267万7千円

2. 基本方針

今回の補正予算は、市民の利便性向上及び業務の効率化を図るため、「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用して取り組む事業に要する経費を計上したほか、国見台公園総合整備事業、団体営農地防災事業など当面急を要する経費を計上しました。

また、国の経済対策に基づく定額減税において、減税しきれない額があると見込まれる方に対し、定額減税調整給付金を支給するもので、国の方針で令和6年11月30日までに支給することとなっており、これに間に合わせるため必要な経費を予算化します。

「定額減税調整給付金支給事業」

- ・給付金の内容：納税義務者本人+配偶者を含めた扶養親族…一人4万円
- ・算定対象者：19,034人（納税義務者数10,500人・扶養親族数8,534人）
- ・スケジュール：9月~10月…申請受付
給付金振込み…9月~11月
- ・給付金支給期限：11月30日

トピックス

地元の要請により
実現しました!

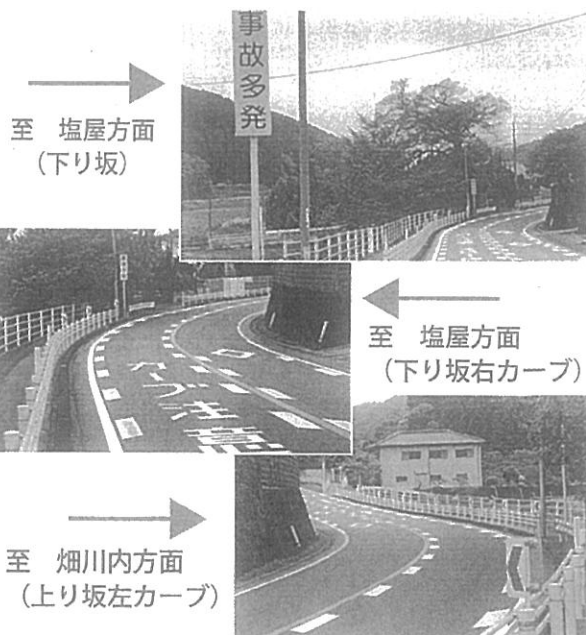
交通事故多発地点に物的対策行われる!!

県道黒川・松島線の黒川町奥野区土井頭地区は、交通事故の多発地点で従前から地元からの改善要請を受け、伊万里北部地区振興協議会で強く要望活動をしておりました。

この度、本年4月末日に

- ① ガードレールの設置
- ② ドライバーに事故多発地点を認知してもらう
立て看板、蛍光版の設置
- ③ 事故多発、スピード落とせ、カーブ注意の道路標示の設置

を実施してもらいました。
通行の際は、引き続き安全走行をお願いします。



私の一般市政質問と執行部答弁

1. 有害鳥獣対策について

質問：イノシシを始めとした有害鳥獣の捕獲頭数と農作物への被害状況は。

答弁：建設農林水産部長
毎年々、イノシシは4,000頭弱捕獲。被害金額は毎年1,500万円前後である。

質問：鳥獣進入防止の再編整備計画は。

答弁：建設農林水産部長
国の5年度再編整備は、柵の整備を促がす為の上限単価の見直しに止まっている。従って、現柵のメンテナンスをお願いしたい。

質問：中山間地域農業の課題解決に向けた地域計画作成の進捗は。

答弁：建設農林水産部長
7年3月までに市内145地区完了に向け順次展開中である。協議完了の地域からは、鳥獣被害による営農意欲の減退や後継者不足等の悩みも聞いている。対応策を共有し早期に計画を実践していきたい。

2. 「道の駅伊万里」の再生について

質問：再生に至るいきさつは。

答弁：市民交流部長
開設当初は、年間約40万人の来場者だったが、諸般の事情により昨年は約4万人に止まった。当駅は伊万里の北の玄関口であり、市としても地域振興の拠点施設にたく、現在JA伊万里にて詳細な再生に向け本格的な検討が進められている。

質問：再生のコンセプトは。

答弁：市民交流部長
課題整理や解決方法の検討、ターゲットの明確化、想定施策の投資額試算等を勘案し、地元客の取り込みを第一に、「地域に親しまれ、伊万里の魅力を発信する道の駅」をコンセプトに掲げられている。

3. コミュニティ・スクールについて

質問：導入の目的は。

答弁：教育長
将来を担う子どもたちを、学校・家庭・地域が三位一体となり、中学校区単位で育てていこうとする活動である。

質問：活動して3年になるが、活動状況と成果は。

答弁：教育長
諸活動が年間計画に織り込まれ、地域の方が学校に行ける、学校も感謝の会を開催し地域の方々を招待し触れ合う等、双方向のコミュニケーションが取れ、成果が上がりつつある。

所属する委員会の活動報告

● 環境建設委員会（副委員長）

6月議会において、環境建設委員会に付託されました議案は計3件で、諸議案審査の結果、原案のとおり全会一致で可決すべきものと決定いたしました。

議案の中から、2議案を紹介します。

1. 議案乙第13号 令和6年度伊万里市一般会計補正予算(第1号)について

第1条 歳出 第6款 農林水産業費

要約：被災した「ため池」を整備します

堤体に大規模な漏水が発生し、底樋及び斜樋周辺部の堤体に土砂が流出している。

また、ため池直下には、住居、公民館、市道などがあり、緊急的に防災機能を確保するための対策工事を行うための予算を計上する。

- ・実施箇所：二里町川内 新堤ため池
- ・測量委託料：600万円
- ・負担割合：国100%

2. 議案乙第13号 令和6年度伊万里市一般会計補正 予算(第1号)について

第1条 歳出 第8款 土木費

要約：インクルーシブ遊具を整備します

健康づくりと楽しさの交流拠点として、子どもたちやご家族に親しみのある都市公園の複合遊具を、老朽化に伴い新たにインクルーシブ遊具に整備する。

- ・実施箇所：楠久津公園地内
- ・工事請負費：14,454千円

● 7月より新たに、二つの特別委員会が設置されました。

私は、地域コミュニティ活性化調査特別委員会を担当します。少子高齢化と人口減少が進行する中で、地域が抱える課題を解決し暮らしを維持するため、地域コミュニティの形成と参画の推進に繋がる取り組みを調査・研究してまいります。

大切なふるさとの行事 黒山町祇園祭浮立 若宮神社 旧拝殿でご披露される

例年7月15日に開催の祇園祭浮立巡行は、荒天により中止となり旧拝殿にて披露されました。観客の皆様、演奏者の皆様お疲れ様でした。



小黒川区グラウンドゴルフ愛好会 今日も元気に練習会

真夏、真冬、雨天時を除く毎日9時～11時の間、各種グラウンドゴルフ大会に向けて練習会を行っています。



小休憩でほっと一息

祇園祭の労をねぎらい ご苦労さん会開催

諸般の事情で、参加者は少なかったのですが、さらなる友好が深まりました。



ミニライブもあり会場いっぱい歌声響く



くらしの相談室 開設

生活される中で、不安・不便・不快と思うことなど、生声をお聞かせください。皆様のこうした声に聞き合い、問題を解決、軽減し「人にやさしく、住みよいまち・住みたいまち 伊万里」を創ってまいります。どうぞ、お気軽にお声かけください！

- ・自宅住所：伊万里市黒川町小黒川456-1
- ・TEL及びFAX：0955-27-2355

様式第5号・その5（第7条関係）

（1回1枚作成）

広 報 費

（支出明細書）

広 報 内 容	つかもと博幸 市政だより第4号		
実施年月日	令和 7 年 2 月 5 日		
経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
活 動 報 告 費 会 費	会場借上料		
	人 件 費		
	茶 菓 子 代		
	そ の 他		
印 刷 費 等	印 刷 代	61,380	1,300部
	コ ピ ー 代		
	用 紙 代		
	消 耗 品		
	そ の 他		
郵 送 代	封 筒 代		
	は が き 代		
	切 手 代	21,630	217通
そ の 他			
合 計		83,010	

TACHIBANA TACHIBANA T 領 収 証 ANA TACHIBANA TACH

つかもと博幸

様

令和 7 年 2 月 5 日

金 額		百万		千		円
			¥	6	1	380

但し、印刷代として

☒現金 ☐小切手 ☐手形 ☐相殺 ☐振込

上記の金額領収致しました。

有限会社 立

代表取締役 松

〒848-0027 佐賀県伊万里市
TEL0955-23-2886/FAX0955-23-2758
登録番号 T7300002008616

内 税率	税抜金額
10 %	¥5,580.00
	消費税額
	¥558.00

TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACHIBANA TACH

領収書

塚本

様

[別納引受]	
区内特別基 (定)	14.5g
@96 160通	¥15,360
小 計	¥15,360
第一種定形	14.5g
@110 57通	¥6,270
小 計	¥6,270
郵便物引受合計通数	217通
課税計(10%)	¥21,630
(内消費税等(10%))	¥1,966
非課税計	¥0
合計	¥21,630
お預り金額	¥30,630
おつり	¥9,000



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2025年 2月15日 14:27
発行No. 250215A6210 端N12箱03
連絡先: 伊万里郵便局
TEL: 0570-943-085



伊万里市議会ご報告 市政だより

発行所：伊万里市議会議員 **つかもと博幸** 後援会事務所
〒848-0125 伊万里市黒川町小黑川 456-1
TEL ■■■■■ 0955-27-2355



令和7年 伊万里市二十歳の集いにて
(1月12日 / 伊万里市民センター)



あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます



初春の候、皆様におかれましては、よき新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は元日早々に能登半島大地震が発生、2日目は羽田空港での衝突事故。その後、能登半島北部の豪雨災害。

また、夏は今まで経験したことのない酷暑が続き、日本全体が大変厳しい試練の1年でありました。

一方で、佐賀県では48年ぶりにSAGA2024国スポ・全障スポが行なわれ、多くの人に「勇気」と「感動」を届けた素晴らしい大会として、県内外から高い評価をい

ただきました。

市内におきましては、子育て・若者成長支援として多様な施策の推進のほか、移住奨励金の拡充により移住・定住の促進に施策が打たれるなど、市内に活気が芽生え始めたと感じています。

本年も「初心忘るべからず」を心に、皆様の生声に真摯に耳を傾け、誠心誠意活動してまいります。

皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和6年 第4回定例会

12月議会が開催されました

令和6年第4回定例会が、12月2日から18日までの17日間、開催されました。付託されました案件は、条例議案9件、一般議案7件、予算議案3件の合計19件です。一般会計における予算規模、補正の基本方針は次の通りです。

尚、詳細は2月に配布予定の「市議会だより第92号」をご覧ください。

1. 予算規模 (一般会計)

令和6年度現計予算額	360億 197万5千円
令和6年度12月補正額	12億9,155万1千円
令和6年度12月補正後額	372億9,352万6千円

2. 基本方針

今回の補正予算は、特別職及び一般職員等の給与等の補正を行うとともに、障がい者(児)介護・訓練等給付事業をはじめ、児童手当支援事業、ため池整備事業、伊万里・有田伝統的工芸品産業振興事業、東陵学園等整備事業、土木施設災害復旧事業、公営企業会計への繰出し金など、当面急を要する一般経費を増額しました。

所属する委員会の活動報告

- 環境建設常任委員会 (副委員長)
- 地域コミュニティ活性化調査特別委員会
- 広報広聴委員会

以上の活動報告に就きましては、紙面の都合上割愛させていただきます。

3委員会とも、詳細は2月に配布予定の「市議会だより第92号」をご覧ください。

トピックス

地元の異常打上げにより
予防保全が出来ました!

拝川の護岸工事が行われました!!

大平山からの水系のひとつは拝川であります。流水ルートは、立目区→清水区→椿原区→小黑川区→伊万里湾に注ぎますが、住民の方から、下流の小黑川区内において護岸の根石が欠損しているとの異常報告を受けました。早速、伊万里土木事務所に異常を報告し現場を確認してもらったところ、数か所に早急な対策が必要と判断されました。

直ちに、令和6年10月、工事に着手され、令和7年1月末日に護岸工事が完了しました。

関係者の皆様の早急な対応に感謝申し上げます。
ありがとうございました。



伊万里湾での安全パトロール

春と夏の2回、伊万里湾での海難事故防止を願い、伊万里海上保安署の「ゆみかぜ」と伊万里湾小型船安全協会との合同パトロールを実施しました。



令和6年 12月議会

私の一般市政質問と執行部答弁

1. 「自動体外式除細動器
AEDの活用について」

質問：AEDを24時間使えるよう、コミュニティセンターの建物内にあるAEDを玄関口へ移設できないか。

答弁：健康福祉部長

AEDの保守管理などの観点から玄関口への移設は、現時点では難しい。今後、屋外への移設設置を検討していく。

質問：AEDを24時間使えるよう、コンビニエンスストアへの配備要請をおこなえないか。

答弁：健康福祉部長

本市も含め、県内ではそのような取組は行われていない。今後、先進事例を参考にしながら調査研究をおこなっていく。

質問：AEDの有効活用の周知広報をお願いしたい

答弁：健康福祉部長

伊万里・有田消防本部において、市民や市内事業者を対象にAEDの使用方法を含めた応急手当の講習会を随時開催し、AEDの設置をホームページ等で公開している。

AEDについては、配置する個所を増やす。一刻を争うために屋外に設置する。どこにあるのか、一目で分かる地図と一緒に整備を進める。さらに、その活用方法の周知を図ることが必要と考える。

AEDの周知方法については、AEDマップの全戸配布をおこなうとともに、緊急時の対応について、設置している全公共施設に貼り紙を行うなど、より一層の周知を図るほか、伊万里・有田消防本部と、引き続き連携を図りながら、AEDの有効活用がなされるよう努めていく。

2. 「市道の維持管理について」



質問：道路は生活に欠かすことのできない命の道であることから、市民の皆様の関心度も高く、市道の補修、改良など多岐に渡る要望が届いているものと察する。

各地区から提出されている要望への対応状況はどうなっているのか。

答弁：建設農林水産部長

各地区から提出された要望件数は令和3年度が208件、4年度が218件、5年度が212件である。

その対応状況は4年度に提出された218件で説明すると、4年度内に対応したものが74件、5年度が31件、6年度が8件の計113件、対応率は52%である。

質問：令和4年度の要望への対応が218件に対し113件が対応済とのこと。逆に残り105件は未対応で手付かずだが、今後どう対応していくのか。

答弁：建設農林水産部長

寄せられた要望に対し、実施するかどうかは現地を確認した上で、その状況や必要性を客観的に確認できるように、危険性と緊急度を数値化して優先度を決めている。未実施の要望に対しては、再度現地を確認して調査した上で再評価し実施の判断をしたい。

質問：各地区において市道の草刈りや支障木の伐採など、区民総出で作業を実施してきたが、少子高齢化が進行する中において今迄当たり前にやれていた草刈り等が困難になってきている。今後、市道の維持管理をどのようにしていくのか。

答弁：建設農林水産部長

市道の維持管理は、定期的な道路パトロールを実施し道路路肩の草刈りや支障木の伐採、路面の補修工事を行っている。高齢化等により地域の担い手が不足し、地域での作業が困難になってきているとの声は市にも寄せられている。

そこで、行政区単位ではなく、より広域的な町単位で行政と住民が連携した取り組みが出来ないか模索中である。

現在、山代町と大川町の2地区において活動中であり、結果を踏まえ今後コミュニティセンターを通じて区長会等で紹介しながら2地区以外の他地区へ広げていきたい。

大切な
ふるさとの
行事

(令和6年師走～令和7年正月)

年頭祈願祭：若宮神社

1年間の五穀豊穡、無病息災、
家内安全を祈願



令和7年1月1日

鬼火焚き準備・周辺清掃

お正月を迎える準備ができました



令和6年12月22日

鬼火焚き

一年間の無病息災、家内安全を祈願



令和7年1月5日

各種団体と
共同で
諸活動を展開

令和6年1月、有害鳥獣狩猟免許
を取得し、伊万里猟友会に入会。
箱罠でイノシシ等有害鳥獣を駆除。

春・秋・冬の3回、県の交通安全強化運動に呼応し、
町内主要交差点で交通安全指導



くらしの相談室 開設中

・自宅住所：伊万里市黒川町小黒川456-1
・TEL：0955-27-2355

生活される中で、不安・不便・不快と思うことなど、生声をお聞かせください。皆様のこうした声に
向き合い、問題を解決、軽減し「人にやさしく、住みよいまち・住みたいまち 伊万里」を創ってまいり
ましょう。どうぞ、お気軽にお声かけください！

様式第5号・その9（第7条関係）

（年間分）

そ の 他 の 経 費

（支出明細書）

項 目	内 容	金 額 (円)
通 信 費	携帯電話料	9,070円
	インターネット関連費用	年額 38,720 円×50 % = 19,360円
	タブレット型端末通信料	
合 計		28,430円

【携帯電話料明細】

月	支出額	支出額の1/2	対象経費
4月	43	21	21
5月	1,882	941	941
6月	2,231	1,115	1,115
7月	1,929	964	964
8月	1,763	881	881
9月	1,843	921	921
10月	1,695	847	847
11月	1,717	858	858
12月	1,742	871	871
1月	1,653	826	826
2月	1,650	825	825
3月	0	0	0
計	18,148	9,070	9,070

備考 対象経費は、支出額の1/2とする。ただし、その額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとし、月額3,000円を限度とする。

848-0125

伊万里市黒川町小黑川456-1

塚本 博幸 様

入金状況のお知らせ

お支払い日	商 品 名	お支払い金額	備 考
2024年04月01日	インターネット利用料	¥3,080	2024年3月分
	インターネットオプション	¥440	2024年3月分
2024年04月30日	インターネット利用料	¥3,080	2024年4月分
	インターネットオプション	¥440	2024年4月分
2024年05月31日	インターネット利用料	¥3,080	2024年5月分
	インターネットオプション	¥440	2024年5月分
2024年07月01日	インターネット利用料	¥3,080	2024年6月分
	インターネットオプション	¥440	2024年6月分
2024年07月31日	インターネット利用料	¥3,080	2024年7月分
	インターネットオプション	¥440	2024年7月分
2024年09月02日	インターネット利用料	¥3,080	2024年8月分
	インターネットオプション	¥440	2024年8月分
2024年09月30日	インターネット利用料	¥3,080	2024年9月分
	インターネットオプション	¥440	2024年9月分
2024年10月31日	インターネット利用料	¥3,080	2024年10月分
	インターネットオプション	¥440	2024年10月分
2024年12月02日	インターネット利用料	¥3,080	2024年11月分
	インターネットオプション	¥440	2024年11月分
2025年01月06日	インターネット利用料	¥3,080	2024年12月分
	インターネットオプション	¥440	2024年12月分
2025年01月31日	インターネット利用料	¥3,080	2025年1月分
	インターネットオプション	¥440	2025年1月分
2025年02月28日	インターネット利用料	¥3,080	2025年2月分
	インターネットオプション	¥440	2025年2月分
	合 計	¥42,240	

貴殿よりご要望のあった当社に対する利用料金の
入金状況は、上記のとおり相違ありません。

2025年3月19日

伊万里ケーブルテレビジョン 株式
伊万里市立花町1542番地8
TEL 0955-22-3506

848-0125

伊万里市黒川町小黒川456-1

塚本 博幸 様

入金状況のお知らせ

お支払い日	商 品 名	お支払金額	備 考
2024年5月31日	ケーブルスマホ利用料	¥1	2024年4月分
	ケーブルスマホ利用料	¥1,650	2024年5月分
2024年7月1日	ケーブルスマホ利用料	¥1,980	対象外
	ケーブルスマホ利用料	¥42	2024年4月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2024年5月分
	ケーブルスマホ利用料	¥2,255	2024年6月分(内1,650円は対象)
2024年7月31日	ケーブルスマホ利用料	¥1,980	対象外
	ケーブルスマホ利用料	¥229	2024年5月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2024年6月分
	ケーブルスマホ利用料	¥2,255	2024年7月分(内1,650円は対象)
2024年9月2日	ケーブルスマホ利用料	¥1,980	対象外
	ケーブルスマホ利用料	¥578	2024年6月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2024年7月分
	ケーブルスマホ利用料	¥2,255	2024年8月分(内1,650円は対象)
2024年9月30日	ケーブルスマホ利用料	¥1,980	対象外
	ケーブルスマホ利用料	¥276	2024年7月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2024年8月分
	ケーブルスマホ利用料	¥2,255	2024年9月分(内1,650円は対象)
2024年10月31日	ケーブルスマホ利用料	¥1,980	対象外
	ケーブルスマホ利用料	¥110	2024年8月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2024年9月分
	ケーブルスマホ利用料	¥2,255	2024年10月分(内1,650円は対象)
2024年12月2日	ケーブルスマホ利用料	¥1,980	対象外
	ケーブルスマホ利用料	¥190	2024年9月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2024年10月分
	ケーブルスマホ利用料	¥2,255	2024年11月分(内1,650円は対象)
2025年1月6日	ケーブルスマホ利用料	¥1,980	対象外
	ケーブルスマホ利用料	¥42	2024年10月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2024年11月分
	ケーブルスマホ利用料	¥2,255	2024年12月分(内1,650円は対象)

2025年1月31日	ケーブルスマホ利用料	¥1,980	対象外
	ケーブルスマホ利用料	¥64	2024年11月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2024年12月分
	ケーブルスマホ利用料	¥2,255	2025年1月分 (内1,650円対象)
2025年2月28日	ケーブルスマホ利用料	¥1,980	対象外
	ケーブルスマホ利用料	¥89	2024年12月分
	ケーブルスマホ利用料	¥3	2025年1月分
	ケーブルスマホ利用料	¥2,255	2025年2月分 (内1,650円対象)
	合 計	¥41,413	

貴殿よりご要望のあった当社に対する利用料金の
入金状況は、上記のとおり相違ありません。

2025年3月19日

伊万里ケーブルテレビジョン 株式会社
伊万里市立花町1542番地8
TEL 0955-22-3506

